



Title	創刊の辞
Author(s)	辻野, 直三郎; 中谷, 肇; 中山, 信三
Citation	makoto. 1973, 1, p. 1-2
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/86286
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

創刊の辞



財団法人

大阪防疫協会

理事長 辻野直三郎

四半世紀前の記録

昭和二十二年六月二十二日、設立間もない大阪防疫協会の初仕事である防疫宣伝活動は、朝日新聞のご好意により、ポリ車(街頭放送車)の出勤を得て大阪府防疫課員、当協会職員合同で五日間にわたり実施した。実施目的は、終戦後荒廃の中にある「都市の清掃、伝染病予防に関し市民の注意を喚起し、併せて防疫協会の設立趣旨を取り入れて、一般の伝染病防止についての協力を呼び起こす」ことで、第一日目の宣伝場所は、道修町、阪急前、天六、十三橋、西野田だった。なにぶん終戦後の発疹チフスの大発生、痘瘡患者の続出等で、衛生状態が極めて不良の時期であったために、連日午前九時から午後四時までの、ポリ車による防疫宣伝活動の反響は大きく、府市民の共感を呼び、成功裡にこの計画は終了した、と当時の記録も鮮かである。

現時点で何をなすべきか

近代の高度経済成長による生活環境の変化は、終戦という歴史のベールを境として大きく変貌(へんぼう)した。高層建築物の林立、地下街の続出、スピード時代の航空機と自動車の氾濫等々、伝染病発生に直接間接の関連と環境衛生に至大の影響を持つものが多い。ダストシュートは油虫とハエの発生源であり、地下室はチャイエ蚊の温床である。地下街はドブねずみの住み家となり、文化的施設としては余りにも環境は汚染されている。しかも昼間の都市人口は、その大部分が高層建築物や地下街に集中している。この地域に一旦伝染病が発生すれば、その被害は昔日の比ではあるまい。これが杞憂に終わることを念願し、行政当局は常に先憂の姿勢で取組んでいられるが、私達もまた、その態勢に協力して、公益団体としての使命達成に最大の努力を致さねばならない。

ここに長らくの念願である機関紙「まこと」を発刊し、当協会の設立趣旨の一助としたい。関係ご当局は勿論府民の皆様にご鞭撻とご支援をお願いして、拙ない創刊の辞と致します。(多謝)

事業の発展に期待

「まこと」創刊によせて

大阪府衛生部長 中谷 肇



財団法人大阪防疫協会が機関紙「まこと」を創刊されるにあたり、一言お祝いを申しあげます。

承りますれば、機関紙発刊の趣旨は、公益事業の一端として

行政機関に協力し、かつ伝染病予防並びに環境衛生の業務を通じて、文化の発展に寄与することであり、貴協会は戦後各種伝染病の流行にともなう社会的混乱のなかで、これら

伝染病の予防と公衆衛生業務を通じ、災害に当っては、薬剤の無料配布を行なうなど、公益法人として極めて顕著な活動を続けられ、その実績は周知のとおりであります。

このたび、本機関紙を発刊されますことは、貴協会の業務をさらに発展させるとともに、公益事業の推進に役立つものであり、私共行政にたずさわる者として誠に同慶にたえませんが、

環境問題はこれらの環境汚染を含んだ諸環境、ことに人と環境との関連において取扱ひ、また対処していくべきであります。

このような事情を背景として今後わが国の指向は、国民の健康と福祉優先に重点をおくべきであるとする考え方が、急速にたかまり、今や国民的合意となりつつあるといっても過言ではありません。

本府におきましても、府民の生命と暮らしを守るといふ行政指向のもとに、鋭意努力しておりますが、貴協会におかれても、本府の衛生行政の推進にご協力いただき、また、府民の衛生思

想の普及向上に、並々ならぬご尽力を願っていることに對し、紙面をかり心から敬意を表します。

私が、今さら申しあげるまでもなく、本府衛生部の受け持つ分野は、極めて多岐に亘っており、しかも、その一つ一つが府民の生活に直結した重要な問題ばかりでありますので、その使命と責任の重大さを痛感しておりますが、改めて各位のご支援とご協力をお願いする次第でございます。

終りにあたり、貴協会の益々のご発展と皆様のご健勝を、心からお祈りいたしまして、私のお祝いの言葉といたします。

業界の指導紙たれ

「まこと」創刊によせて

大阪府環境保健局長 中山 信三



新年おめでとうございます。

このたび、大阪防疫協会におかれまして、機関紙「まこと」を創刊されるにあたり、一言「あいさつ」申しあげます。

近年、産業経済の急速な発展に伴ない、市民の生活環境の変

化も著るしく、環境汚染等の問題が大きくクローズアップされ

この問題解決が社会的に緊急を要する課題となっていることはご承知のとおりであります。

もとより、公衆衛生行政に關与する私共といたしましては、

市民の健康保持と衛生的環境の

確保の立場から、市民のニードに應えるべく、鋭意努力を重ねてまいりました。

しかしながら、公衆衛生行政は市民や民間組織の方々と手をたずさえ、協力しあつてその施

策を推進していつてこそ、はじめて効果があがり、目的が達成されるものであります。

このような意味におきまして貴協会は昭和二十二年に設立されて以来、長年にわたり防疫に關する調査研究、防疫工作の実施、ワクチン、殺虫剤など薬資材の斡旋事業を行なわれる一方最近では、ビルの環境調査など広範囲にわたる公益事業を通じて、市民の衛生、福祉の向上に寄与されましたことは、誠に有

意義なものと存する次第です。ここに、新春とともに発刊されます機関紙「まこと」は、実践活動の場に有益な指針を与えるものであるとともに、防疫関係業界における指導紙としての役割を果すものとして、大きく期待するものであります。最後に貴協会のますますのご活躍とご発展を祈念して、創刊のごあいさつといたします。